

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成23年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県立愛宕山少年自然の家	所管課	福祉保健部児童家庭課
所在地	甲府市愛宕町358-1	設置年月日 (改築年月日等)	昭和48年8月9日
管理方式	指定管理者(財団法人山梨県青少年協会、平成18年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立愛宕山少年自然の家設置及び管理条例		
設置目的	①自然の中で、集団生活を通じて自律、協同などを体験的に学習する場を提供すること。 ②各種事業の実施を通じて、豊かな自然の中で情操を養い心身共にたくましい少年を育成する機会を提供すること。 ※山梨県教育委員会からの管理運営事務の委任の年月日と理由 ・昭和48年8月1日 ・山梨県立愛宕山少年自然の家は、児童厚生施設である山梨県立愛宕山こどもの国内に設置されており、利用対象者は低学年児童であることから、二つの施設を同一の機関において管理運営を行うことにより、両施設の相互連携が容易にでき、利用者の計画的利用の便宜が図られ、より一層の効果が期待されるため		
主な施設内容 (定員等)	① 1階 大ホール(144㎡) ② 2階 工作室(78㎡)第一研修室(74㎡)第二研修室(67㎡)展示ロビー(73㎡) ③ 3階 食堂(156㎡)利用者入口 男女浴槽 ④ 4階 宿泊室 15部屋 定員各10名 事務室(96㎡) 相談室		
主な業務内容	○利用の承認に関する業務 ○施設及び設備器具の維持保全に関する業務 ○集団生活を体験させる集団宿泊訓練に関する業務 ○野外観察、自然探求その他の自然に親しませる学習活動に関する業務 ○体育、レクリエーション及び野外活動に関する業務		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	(1) 山梨県立八ヶ岳少年自然の家:定員210人 (2) 山梨県立なかとみ青少年自然の里:定員108人 (3) 山梨県立ゆずりはら青少年自然の里:定員100人
-------------------	---

3. 利用状況

単位:人、%

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度 (計画値)
利用者数	施設利用者数	19,988	16,671	16,356	
	事業参加者数	374	314	361	
	利用者数合計	20,362	16,985	16,717	
	目標値	21,407	21,621	21,837	22,056
	目標値設定の考え方	平成19年度実績値の1%増を目標値と設定している。	平成21年度目標値の1%増を目標値と設定している。	平成22年度目標値の1%増を目標値と設定している。	平成23年度目標値の1%増を目標値と設定している。
	対21年度比	100.0%	83.4%	82.1%	108.3%
宿泊室稼働率		37.9%	33.4%	34.8%	
定員稼働率		46.8%	37.2%	20.3%	

4. 収支状況

単位:円、%

		平成22年度	平成23年度 (計画値)	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (計画値)
収入	施設利用料	2,075,000	2,845,000	2,051,000	2,874,000
	指定管理者委託料	57,087,000	57,413,000	57,413,000	57,190,000
	その他	944,000	2,485,000	1,529,000	1,578,000
	収入合計(A)	60,106,000	62,743,000	60,993,000	61,642,000
支出	人件費	30,441,000	33,306,000	31,021,000	32,398,000
	県への納付金				
	管理運営費	29,392,000	29,437,000	29,625,000	29,244,000
	(うち外部委託費)(B)	7,171,000	6,798,000	7,244,000	6,892,000
	支出合計(C)	59,833,000	62,743,000	60,646,000	61,642,000
収支差額(A-C)		273,000	0	347,000	0
外部委託比率(B÷C)		12.0%	10.8%	11.9%	11.2%
利用者一人当りの経費		2,804	3,380	3,434	2,593

※直営の年度は、県の収支を記入し、指定管理者施設の年度は、指定管理者の収支を記入する。

※利用者1人当りの経費の算定式は、指定管理者委託料÷利用者数。

5. 利用者満足度

実施方法等	調査項目①②④ 実施時期:平成23年4月～24年3月、実施方法:施設利用者へのアンケート、回答数:108人 調査項目③ 実施時期:平成23年4月～24年3月事業実施時、実施方法:事業参加者へのアンケート、回答数:339人
-------	---

単位:%

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
①設備・備品の状況	92.0%	7.0%	1.0%	0.0%
②受付・接客対応	94.0%	6.0%	0.0%	0.0%
③事業内容	88.0%	8.0%	1.0%	3.0%
④利用者サービス	88.0%	11.0%	1.0%	0.0%
各項目の平均	90.5%	8.0%	0.8%	0.8%

※調査項目は、施設ごとに適宜変更する。

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ○洋式のトイレを各階に1カ所は欲しい。 ○照明スイッチの場所が分かりにくい。 ○洗濯機がもう数台あると良い。 ○きれいで使いやすいが、館内の造りが多少複雑であり、迷路のようで分かりにくかった。 ○入浴時間の変更にも、すぐに対応してもらえた結果、気持ちよく利用できた。 ○焼き杉工作や、ゲーム等体験活動が出来て楽しかった。 ○野外炊事初心者であったが、用具の準備等をしてもらい、楽しむことが出来た。 ○自然体験を楽しめ、子どもと遊ぶコツも分かった。大変勉強になった。
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○施設・設備に関しては、出来るところから改修し、利用しやすい施設にしていく。 ○職員の対応は親切で迅速と評判が良い。今後も利用者の要望に応えられるよう臨機応変に対応していく。 ○活動プログラムについては、中学生向けのクラフトの開発や、雨天プログラムの充実を目標に、幅広いニーズに応えられるよう努力する。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	○毎日巡回を行うことにより、施設内の安全及び適正管理に努めている。 ○警備・防犯対策に注意を払い、利用者の安全確保に努めた。	○計画どおり適正に業務執行されている。
運營業務	○すべての職員が、条例、規則及び業務仕様書に基づき適切に業務が遂行できた。	○計画どおり適正に業務執行されている。
自主事業	○愛宕山の豊かな自然に親しむ機会を提供できたと同時に多くの方に自然に対する興味・関心を持ってもらうことができた。	○計画どおり適正に業務執行されている。 ○募集定員に満たない事業については、募集定員が満たされるよう事業内容や実施時期などに工夫が必要である。
利用状況	○震災の影響による計画停電により、利用者サービスに支障がでるため、年度初めの予約をお断りしたり、キャンセルも多かったことで、利用者減となったと考えられる。県内だけでなく近隣の学校へのPRを図るとともに、管理体制を整え、家族利用も増やしていきたい。	○震災による計画停電の影響などにより、利用実績は、前年度より減少となった。 ○利用者ニーズに合致した事業展開を図るとともに、新規利用者確保のためのPRを行うなどの取り組みが必要である。
収支状況	○人件費は微減となったが、施設・設備の老朽化から修繕費が増加していることが目立つ。	○人件費の削減に努めるとともに、施設修繕により施設環境改善に努めている。 ○利用者が減少していることから、原因分析を行い、それに基づき利用促進を図る必要がある。
利用者満足度	○職員の対応は親切で迅速と評判が良い。	○利用者の満足度向上に向けた取り組みを全職員に徹底させるとともに、ニーズに合致した事業展開を図る必要がある。
運営目標の達成状況	○学校訪問による直接PRなど利用促進を図ったものの、延べ利用者数は昨年度に比べ約2%減少、目標値の約77%となっている。原因として、東日本大震災の影響によるキャンセルや、計画停電により適切なサービス提供が困難になることから、利用の中止・延期を呼びかけたことなど、利用者減のほとんどが不測の事態によるものである。 ○主催事業や自主事業は、募集定員を上回る参加人員となっている事業もあり、概ね利用者ニーズに合った取り組みを行っているといえる。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	○施設管理・主催事業・自主事業等について、業務計画書等に基づき適正に執行されている。利用者数が減収していることから、利用者ニーズの把握に努めるとともに、利用者サービスの向上と利用者の増加に取り組むこと。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	○利用者アンケートや参加率などから既存の事業の改廃を行うことにより、より魅力ある施設となるよう取り組んでいる。 ○利用者の満足度の向上のため、業務計画書に沿った適正な管理に努めている。	

7. 管理体制(組織図)

